

防災訓練で広報活動



自治体・自衛隊一体となり
広報活動を展開

神奈川地方協力本部相模原地域事務所（所長 林2陸尉）は、9月4日（日）相模原市で実施された平成28年度総合防災訓練に参加した。同訓練は、防災関係機関が相互に協力し、地域の防災体制の強化と防災意識の高揚を図るのが目的である。

自衛隊ブースでは、偵察用オートバイや災害派遣活動などの写真パネルを展示し、災害時の自衛隊の活動状況をアピールするとともに、合わせて募集相談コーナーを設置し、締め切りが迫る一般曹候補生の獲得に尽力した。

相模原地域事務所は、「今後も地域に密着した広報活動を行い、自衛隊に対する理解と信頼を深めていきたい」としている。

母校での「帰郷広報」を支援



事務所で航空自衛隊志願者の女子高生と懇談する一色士長と広報官



志願者を激励する一色士長

神奈川地方協力本部横浜出張所（所長 服部3陸佐）は、9月8日（木）、横浜市鶴見区にある鶴見大学付属中学校・高等学校において、航空自衛隊那覇基地所属の一色真理子空士長による母校での帰郷広報の支援を行った。

恩師の先生方への挨拶の際には、元担任の先生の「とても輝いている素敵な女性になったね」との言葉に、はにかんでいた一色士長だったが、自衛隊を志願している高校3年生の後輩たちを前に、堂々と自身の体験談を交えながら、自衛官受験の心構えや自衛隊の魅力について丁寧に説明を行っていた。また、茶道部の後輩たちとの懇談では、「女性自衛官はモテますか」「今まで一番苦しかった訓練は何ですか」など多くの質問が飛び交い、「とてもモテます」「教育隊での真夏の訓練です」との回答に、後輩たちからは、「自衛隊のイメージが変わった」「女性が輝ける職場で憧れる」などの声が聞かれた。

横浜出張所は、「今後も積極的に帰郷広報を支援し、組織募集の拡大と募集基盤の拡充に繋げていきたい」としている。



茶道部の後輩たちに自衛隊の魅力を説明する一色士長



自衛隊の魅力を説明する一色士長



進路担当の先生から自衛隊を目指している後輩を紹介される